

市会議案第5号

地方議会議員年金制度の復活に反対する意見書

上記の議案を提出する。

平成30年3月26日提出

吹田市議会議員 斎藤 晃

同 井口 直美

同 橋本 潤

同 榎内 智

地方議会議員年金制度の復活に反対する意見書（案）

地方議会議員年金制度は、平成23年（2011年）6月1日に廃止された。

しかし、平成24年（2012年）5月24日に第104回市議会議員共済会代議員会において、廃止された地方議会議員年金に代わる新たな地方議会議員の年金として、市町村長や勤労者等が加入する、基礎年金に上乘せの報酬比例部分のある公的年金制度への加入を実現するよう求める決議がされた。

また、平成28年（2016年）7月及び平成29年（2017年）8月には全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会及び全国町村議会議長会において、同様の決議や要望を採択し、国や国会の関係方面に要請活動が行われている。

地方議会議員年金制度は廃止されたものの、元議員等の既存受給者への給付はこの先約50年続き、その公費負担の累計総額は、約1兆1,400億円にも上る。その原資は全て税金であり、国や各地方公共団体の財政運営に少なからぬ影響を与えている。

国民の日常生活は依然として厳しい環境に置かれており、地方議会議員だけを特別扱いすることは許されない。地方議会議員年金制度廃止後も、膨大な税金投入が続いており、この制度を復活させれば、更なる公費負担が必要になり、到底国民の理解を得られるものではない。また、国民目線から遠くかけ離れた各議長会の決議、要望は許容できるものではない。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、各議長会が進める地方議会議員年金制度の復活に断固反対し、制度を復活させないよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年3月 日

吹 田 市 議 会